

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年02月20日

計画の名称	柳井市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和04年度（1年間）												
交付対象	柳井市												
計画の目標	宅地耐震化を進め、災害時の被害を軽減するため、地震発生時に大きな被害が発生する可能性がある大規模盛土造成地の所在・規模等を調査・公表する。 さらに、安全性の把握を進めることで、災害リスクに対する県民の理解を深め滑動崩落による被害の未然防止を促進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	4	A	4	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R4当初)		(R4末)
1	大規模盛土造成地のうち、優先度評価を実施する盛土を0箇所（R4当初）から15箇所（R4末）に増加（第二次スクリーニング計画策定） 基礎資料整理、現地踏査、優先度評価 優先度評価実施箇所 / 15箇所	0箇所	箇所	15箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
国土強靭化地域計画に基づき実施される要素事業：A13-001												

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況					
		一體的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	柳井市	直接	柳井市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画策 定	柳井市				4	-					
															4						

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

柳井市 建設部 都市計画・建築課

事後評価の実施時期

令和5年12月

公表の方法

柳井市ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

現地踏査・優先度評価を行うとともに、宅地カルテを作成した。
宅地カルテを基に、第二次スクリーニング計画の検討を行うことで、個別の大規模盛土造成地に対する安全性調査の必要性を把握するとともに、当該調査の計画的な実施が可能となり、災害の未然防止や被害の軽減に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

市内15カ所の大規模盛土造成地において第二次スクリーニング計画策定の検討を行った結果、安全性の把握が必要となった盛土は1カ所で学校用地であった。学校用地であるため、宅地耐震化推進事業として第二次スクリーニングは行わないが、学施設管理部局との協議した結果、安全性の把握調査は引き続き行うこととした。その他14カ所の大規模盛土については経過観察を行う。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	15箇所	
	最終実績値	15箇所	